

## 東京都公民館連絡協議会職員部会 第3回（報告）

日時 令和元年6月19日 午後2時～午後4時

会場 中央公民館講座室 AB

出席者 ・小松（昭島市）・辻口（国立市）・増本（国分寺市）  
・泉（狛江市）・山本（西東京市）・松浦（福生市）  
・大村、佐藤、吉川（日野市）・細淵（小平市）

欠席者 ・矢嶋（町田市）・小磯（小金井市）・高木（東大和市） ※敬称略

### 1 事務局より

- ◆職員部会ニュースコラム担当順番 2ヶ月に1回  
6・7月号は国立市、西東京市 7月20日（土）原稿締切り
- ※職員の工夫等
- ◆東京都公民館連絡協議会企画委員会の報告  
東京都公民館研究大会 全体テーマ 7月中には決定の方向

### 2 協議事項に関して

- ◆9月18日（水）職員部会研修について
- 研修テーマをどうするか
  - ・「利用者との関わり方」がよい。（アプローチ、講座後のフォローなど・・・）
  - ・「サークル化」がゴールだとは思わないが、大事なポイントではある。
  - ・講座後にサークルができることで、場所の確保が難しくなることもある。  
公民館としてはサークル化も大事だが、ジレンマを抱える側面もある。
  - ・講座終了後のサークル化については公民館ごとに温度差があるようだ。  
また、職員の関わり方にも開きがある。
- 研修のつくりをどうするか
  - ・職員部会の職員が、講座の企画運営、サークル支援などをしてきた事例を  
発表して講評いただくのはどうか。「学ぶ場」、「つながり方」が時代ととも  
に変わりつつある中、職員に新しい視点が求められる状況もある。
  - ・「アウトリーチ」もそうした視点の一つだと思う。
  - ・「隠れたニーズを探す」というのも大切なこと。
  - ・講座ごとに参加者が職員に求める関わり方がまちまちという状況もある。  
どこまで関わっていけばいいのかがわからない。「ゆるやかな」つながり  
というの、どの程度のゆるやかさを求めているのかとか・・・。

- ・「テーマ」と「つくり」が決まれば、講師も決まると思う。
- ・普遍的なテーマと社会情勢にあったテーマと二つあるのでは？  
昨年の内容を踏まえて事例報告を入れてというのが現実的だと思うが、職員部会の各市で行なってきた面白い取り組みを全員が発表するというのも勉強になると思う。
- ・「アウトリーチ」「他団体とのコラボ」事例などは参考になると思う。
- ・職員部会の職員が事例発表するという形でやってみたらいいのでは。
- ・職員発表⇒講師の講評・・・または講師がテーマに沿った話⇒職員発表で。
- ・講座、サークル支援に限定せず、自慢したいこと、しくじってしまったこと等発表いただいてはどうか。
- ・「これからの公民館」とか、「新しいとりくみ」といったものがイメージできるテーマだったら関心がある。(国立市の子どもの学習支援のように)
- ・他地域にフィールドワークしてはじめた「外国人の子どもを対象にした学習支援」(多文化共生講座)の話なら、することができる。(国分寺)
- ・利用者交流会がはじめた「10円カフェ」の取り組みを紹介できる。(福生)
- ・「サークル化の取り組み」の話もいただければなおいいと思うが。  
⇒国分寺、福生市のほかもう一市くらいを事例候補にして、顧問とも相談の上で、講師・テーマについては次回までに決定しておく方向とした。

◆次回の内容について

7月の部会 職員部会内での研修を行ってみたい。

荒井顧問から「各市の財政推移」について発表していただく予定。

その後、市民のコミュニティースペース「キョテン107」を訪問。

修了後に日野駅周辺で暑気払いを予定。 ※17時30分以降

3 各市からの報告事項

名簿の修正版は再送。